

大正	元	一九二二	七、二二	川全町浸水、床上二、五尺浸水、姥堂・熊倉・北山・大塩・関柴・駒形・磐梯・
	四四	一九一一	七、一七	七月十七日午後八時頃より諸川氾濫す。堤防決潰甚しく、明治十二年の洪水をし
	四三	一九一〇	八、一一	七月十三日夜来の雨、翌十四日洪水となり、被害多く、再び豪雨あり。
	四〇	一九〇七	八、二八	七月十七日午後八時頃より諸川氾濫す。堤防決潰甚しく、明治十二年の洪水をし
	三九	一九〇六	洪水	大塩川添い、熊倉村高柳堤防決潰、三十戸床上浸水二尺余、長瀬川の増水甚しく、湖
	三八	一九〇五	洪水	水増水し、沿岸に氾濫し、田畑併せて一、六五九町流水埋没、浸水住家一、三九五戸
	三七	一九〇四	洪水	水増水し、沿岸に氾濫し、田畑併せて一、六五九町流水埋没、浸水住家一、三九五戸
	三六	一九〇三	洪水	水増水し、沿岸に氾濫し、田畑併せて一、六五九町流水埋没、浸水住家一、三九五戸
	三五	一九〇二	九、二八	甚しく、死者一〇二人、家屋全潰七五八戸、半潰四六二戸、破損六、九九二戸、
	二九	一九〇六	五、一五	午前八時頃におかに雄国沼の貯水堤防決潰し、涸れる。連日の雨水一時に注入し
	二七	一九〇四	一一、一一	たためという。雄国新田飲料水もなく困窮する。
	二二	一八八八	七、一五	午前七時四十五分磐梯山破裂、約七〇平方軒埋没、雄子沢・細野・秋元原・川上
				埋没見瀨・長坂・渋谷・白木城・樋ノ口・名家・伯父ガ倉の一部を含めて被害
				馬数一、五一、田埋没五、一、半潰一七、死者四七六人、負傷者四一
				見瀨の東半を埋没、檜原・小野川・秋元その他の湖をせきとめ、檜原・小野川全
				部檜原村に移転、その他にも移転多し。

会津郷土史